

平成30年度の愛知県の主な結核対策事業

事業名	目的	実施状況
結核治療成功促進事業	患者管理の評価の指標であるコホート分析を適切に実施するとともに、日本版DOTSを推進し患者の治療成績向上を図る。	<p>1 研修（県主催） 3回開催</p> <p>(1) 結核研修所保健看護学科コース伝達研修会 平成30年7月12日開催 新任期の愛知県保健所保健師を対象に開催</p> <p>(2) 結核対策研修会 平成31年2月4日開催予定 「外国人結核診療における現状と課題」 講師 結核予防会 総合健診推進センター 呼吸器科 医師 高柳 喜代子 氏</p> <p>(3) 結核菌の遺伝子型別検査（VNTR検査）事業に関する研修会 平成30年6月1日開催 「結核菌遺伝子型別情報を用いた疫学調査及び接触者健診等の実施事例紹介」 講師 山形県衛生研究所 微生物部 主任専門研究員 瀬戸 順次氏</p> <p>2 コホート検討会（全保健所）</p> <p>3 各医療機関との結核服薬支援連絡会</p> <p>4 看護職連絡会議（年1回） 平成30年6月5日開催 結核病床を有する医療機関の師長（リーダー看護師）同士の情報交換をする場としている。</p>
結核研究所研究会派遣	結核予防に従事している技術者に対して結核対策に必要な知識と技術の習得および新しい施策の周知を図る。	<p>1 結核予防技術者地区別講習会 開催地 三重県 20名</p> <p>2 保健所職員派遣 保健師・対策推進コース 3名 短期集中コース 1名 医師・対策コース 2名</p> <p>3 結核（モデル）病床看護師派遣 保健師・看護師等基礎実践コース 1名</p>

事業名	目的	実施状況
結核菌分子疫学調査事業	感染症法第15条の規定に基づく積極的疫学調査の一環として実施し、感染症及び感染経路等の究明を行う。	<p>1 V N T R 検査</p> <p>(1) 対象 結核菌陽性患者</p> <p>(2) 方法 保健所は医療機関から検体を確保し、愛知県衛生研究所にて検査を実施する。 保健所は検査結果から遺伝子型が一致した事例について、感染源及び感染経路の究明を行う。</p> <p>(3) 検査実施数 平成28年10月～3月 151件 平成29年 4月～3月 297件 平成30年 4月～9月 106件 ※平成28年10月より検査開始。</p> <p>2 病原体等の包装・運搬講習会 平成30年6月20日開催 結核菌等の包装・運搬に係る保健所職員及び医療機関職員を対象に開催。</p>
予防接種後健康状況調査	有効かつより安全な予防接種の実施に資することを目的とし、BCG接種の針痕数などの調査を行い予防接種の研究の一助とする。	BCG接種後にアンケート調査実施(大府市) 配布数 200人
結核読影相談	結核の診断を迅速に行い患者発見の遅れを解消するとともに読影技術の向上を図る。	県内5感染症診査協議会で実施
医師講習会	公益社団法人愛知県医師会に委託し、医師等を対象とした結核に関する講演会を開催する。	<p>1 開催回数 延べ4回開催予定</p> <p>2 内訳</p> <p>(1) 全域 平成30年10月13日開催 「結核の院内感染対策」 講師 公益財団法人結核予防会研究所 企画主幹 吉山 崇氏</p> <p>(2) 各地区医師会 3回 名古屋市、瀬戸旭、碧南市</p>
その他		第2回東海地区小児結核対策検討会 平成30年12月8日 大同病院主催(愛知県は開催協力) 行政機関と医療機関から、小児結核事例を報告し、小児結核対策に関する課題等の意見交換を行う。